

電話新開設

希望者は希望品を至急申込まれ
(イ) 三尺戸柵 (高さ三尺、横
三十錢赤八二圓三〇錢位)
申込は七日十日迄入手期日は十
月末になる豫定とある

格一八〇圓位 (口) 食卓 (一尺
八寸角のもの、二尺二寸丸の
八寸角のもの、二尺二寸丸の)

中止の運命

炭礦の青年達の思想の善導
教化を目指し、内郷町宮佐川好
男氏は先般常磐炭礦から長屋一
棟の寄附の内諾を得たので無料
宿泊所を建設すべく準備を急い
でたが、今度突如全礦内郷坑
より長屋入手その他の便宜が失
はれても飽迄も初志を貫徹しや
が決定したので五日午后一時か
ら同役場会議室で配給委員會を
結成すると共に第一回委員會を
開き一般配給問題、引揚者の特
別問題等に就き種々協議した。引
揚者の聯合問題等に就き種々協議
した。

靈は左の通り一一柱とある
軍曹青木敏、全小松公平、全
森下良雄、伍長増尾三郎、全
猪狩專也、全松崎宮夫、全鈴
木武夫、全生田重治、全柳
太郎、上等兵水野通、全根木
清、一等兵鈴木茂

内郷でも委員會結成

保一、全相澤康雄、全佐藤一
全高瀬栄、全牧野克夫、全石
川博、全渡邊三男、全上杉健
太郎、上等兵水野通、全根木
清、一等兵鈴木茂

いわき民報

五 一〇 番

長谷川兵衛

提出僅かに十一軒

違反者はごしく嚴罰處分

住宅難緩和のため市復興課では
各區内會を通じて去月末迄に
大邸宅の開放申請を取り纏めたが
現在に至るも未だ十一軒の提出
があるばかりで、市の現實から
みて余りに少ないとある、五日各
區内會を通じ該當者の申請を急
ぐやう注意督促を發した、違反
者は三千圓以下の罰金に處せら
れるとある

代替供出をも認む

麥、薯の個人割當は十日迄に 供出は本月いつぱいに完遂

麥、薯の個人割當は十日迄に
供出は本月いつぱいに完遂

合 同 慰 霊 祭

來日後江町で

濱三郡陸軍

十八日後江町正西

破損品は即時交換

燃料部のサービス強化對策

燃料部の

健實に歩む引揚者聯盟

各支部の其後の動向を見る

『忘れては居ませんと援護週間』……辛酸な社會諷刺を受け乍らも、暖かい同胞愛の換起に全國一齊に引揚者援護週間と銘打つて、煽迫せる引揚者の、救濟に輿論の換起と同情を促すことになつたが、當市でも社會課では之に即應して去月末實施に關する準備協議會を開き、今月中旬東都一流の歌手を招待華々しく援護資金募集興行をするが、結成以來着々と堅實な歩みを進めてゐる引揚者磐城聯盟の其後の状況は、又結成以來十五を数へる各支部の其の後の活躍はそして今後の動向はいかに在るか……各支部の代表者に今後の在り方を聽いて見た

飽迄依存心を捨てよ

鈴木磐城聯盟本部委員長談

産みの懐みを續けて來た當聯盟

は各委員の協力に依りやうやく產は目下報告書取纏めである

二百世帯三千四百人に達したが財産公式非公式に抱らすとは

本部としては、金もなく物もな云へ國家の財産であるから直接

い引揚者にとつては百の理論よりの實行といふ主義で先づ第

一に生必物資の獲得を目指し、いで報告して欲しいです、農耕

縣社會課長と懇談の結果引揚者の方も既報の平塙銀鍊場に於

手に入る、入らないにかゝらず申告者は是非各支部を通じて急

に申告が済まされ、近づく町當局の協力の下に日用品交換所を設置する事になつたので

ある、生必物資の不足に對しては、驛前の販賣部を強化して廉

價品入手販賣と共に、近づく町當局の協力の下に日用品交換所を設置する事になつたので

ある、生必物資の不足に對しては、驛前の販賣部を強化して廉

價品入手販賣と共に、近づく町當局の協力の下に日用品交換所を設置する事になつたので

ある、生必物資の不足に對しては、驛前の販賣部を強化して廉

價品入手販賣と共に、近づく町當局の協力の下に日用品交換所を設置する事になつたので

ある、生必物資の不足に對しては、驛前の販賣部を強化して廉

價品入手販賣と共に、近づく町當局の協力の下に日用品交換所を設置する事になつたので

ある、生必物資の不足に對しては、驛前の販賣部を強化して廉

價品入手販賣と共に、近づく町當局の協力の下に日用品交換所を設置する事になつたので

ある、生必物資の不足に對しては、驛前の販賣部を強化して廉

價品入手販賣と共に、近づく町當局の協力の下に日用品交換所を設置する事になつたので

ある、生必物資の不足に對しては、驛前の販賣部を強化して廉

男の電髪へ

開放 紙上匿名可

授書を歓迎

要望批判結構

装も達ひ、若い女性の洋服姿と

共に電髪が盛んになつて來た、

この女性の向ふを張つてかは

どうしてかは知らぬが、若い男

いか

性迄が鳥賊の足よろしくといつ

た頭をしてゐるがなんと殖え

したことよ

男だから電髪は悪いといつ

男として身親しみがあるのでは

してよいだらう、男には飽迄も

ならば男の電髪などは零だと申

してよいだらう、男には飽迄も

角あれ／＼からみると余りみよ

る、然しどんなものであらうか

男性美といふではないか、男に

は男としての美があるだ苦

らう、思へば寒心に堪えぬと申

すより外ないやうな佗しさを感

じる

繰り返していふ男には男

ゆめの日よ 永劫にかへらぬ

汝よ

想ひ出は雨の日の天と地を

化する必要があるが、敗

戦日本である、いくら民主化と

いへ、自由といへ、これでは心

細い、男は飽迄も男らしくあれ

なくてこそ日本再建も力強く出

現する、こんな男に限つてその

精神は漸次女性化しつゝあるに

来る、あるいはあらまいか

あるまいか、昔から女性美とか

違ひない、男までが女性化した

波にたわむれしなた

口笛は微風にも流れ

その腕は力強く瞳を射た

いつが魅せられるあの日

の宿はない、男には男

は男としての美があるだ苦

らう、思へば寒心に堪えぬと申

すより外ないやうな佗しさを感

じる

繰り返していふ男には男

ゆめの日よ 永劫にかへらぬ

汝よ

想ひ出は雨の日の天と地を

化する必要があるが、敗

戦日本である、いくら民主化と

いへ、自由といへ、これでは心

細い、男は飽迄も男らしくあれ

なくてこそ日本再建も力強く出

現する、こんな男に限つてその

精神は漸次女性化しつゝあるに

来る、あるいはあらまいか

あるまいか、昔から女性美とか

違ひない、男までが女性化した

波にたわむれしなた

口笛は微風にも流れ

その腕は力強く瞳を射た

いつが魅せられるあの日

の宿はない、男には男

は男としての美があるだ苦

らう、思へば寒心に堪えぬと申

すより外ないやうな佗しさを感

じる

繰り返していふ男には男

ゆめの日よ 永劫にかへらぬ

汝よ

想ひ出は雨の日の天と地を

化する必要があるが、敗

戦日本である、いくら民主化と

いへ、自由といへ、これでは心

細い、男は飽迄も男らしくあれ

なくてこそ日本再建も力強く出

現する、こんな男に限つてその

精神は漸次女性化しつゝあるに

来る、あるいはあらまいか

あるまいか、昔から女性美とか

違ひない、男までが女性化した

波にたわむれしなた

口笛は微風にも流れ

その腕は力強く瞳を射た

いつが魅せられるあの日

の宿はない、男には男

は男としての美があるだ苦

らう、思へば寒心に堪えぬと申

すより外ないやうな佗しさを感

じる

繰り返していふ男には男

ゆめの日よ 永劫にかへらぬ

汝よ

想ひ出は雨の日の天と地を

化する必要があるが、敗

戦日本である、いくら民主化と

いへ、自由といへ、これでは心

細い、男は飽迄も男らしくあれ

なくてこそ日本再建も力強く出

現する、こんな男に限つてその

精神は漸次女性化しつゝあるに

来る、あるいはあらまいか

あるまいか、昔から女性美とか

違ひない、男までが女性化した

波にたわむれしなた

口笛は微風にも流れ

その腕は力強く瞳を射た

いつが魅せられるあの日

の宿はない、男には男

は男としての美があるだ苦

らう、思へば寒心に堪えぬと申

すより外ないやうな佗しさを感

じる

繰り返していふ男には男

ゆめの日よ 永劫にかへらぬ

汝よ

想ひ出は雨の日の天と地を

化する必要があるが、敗

戦日本である、いくら民主化と

いへ、自由といへ、これでは心

細い、男は飽迄も男らしくあれ

なくてこそ日本再建も力強く出

現する、こんな男に限つてその

精神は漸次女性化しつゝあるに

来る、あるいはあらまいか

あるまいか、昔から女性美とか

違ひない、男までが女性化した

波にたわむれしなた

口笛は微風にも流れ